

ご修理のときは

お買い求めの販売店、またはホームセンターにお申し付けください。
なお、修理を依頼する販売店やホームセンターがお近くにない場合は、
弊社 WEB サイトから修理受付けを行っていますのでアクセスしてください。
<https://www.hikoki-powertools.jp/contact/repair/>



お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(NO.)などを下欄にメモしておくと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日 年 月 日 製造番号 (NO.)

販売店 (TEL)

お客様相談センター

●フリーダイヤル (9:00~18:00)

0120-20-8822 ※携帯電話、IP電話からもご利用いただけます。

工機ホールディングス株式会社

〒108-6018 東京都港区港南2丁目15番1号(品川インターシティA棟18階)

電動工具ホームページ——<https://www.hikoki-powertools.jp>

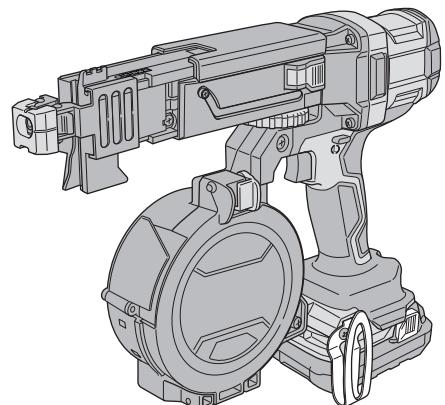
部品コード C99282001 505 F

HIKOKI

取扱説明書

コードレス連結ねじドライバ 18 V WF 1804DA

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、
ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、
正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に
大切に保管してご利用ください。



本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。
This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

はじめに

コードレス工具の安全上のご注意	1
本製品の使用上のご注意	5
リチウムイオン電池の使用上のご注意	7
各部の名称	9
用途	10
仕様	10
標準付属品	11
別売部品	11

使い方

蓄電池の取付け・取りはずし	13
フックの使い方	13
電池残量表示	14
1充電当たりの作業量	14
スイッチの操作	15
正逆転の切り替え	15
保護機能について	16
ストップの位置設定	16
連結ねじの装てんと抜き取り	17
連結シートの切り方	19
ノーズキャップの取付け方	19
ねじの締付け深さの調整	20
モードの切り替え	21
作業上のご注意	22
ねじを締める／はずす	23
ビットの交換方法	25

その他

保守・点検	27
ご修理のときは	裏表紙

⚠️警告、⚠️注意、注の意味について

- ⚠️警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。
- ⚠️注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
- 注：製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、⚠️注意に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠️警告

① 専用の充電器や蓄電池を使用してください。

弊社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。
指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。

② 蓄電池の端子間を短絡（ショート）させないでください。

釘袋などに入れると、短絡（ショート）して、発煙・発火・破裂などの恐れがあります。

③ 蓄電池の内部に、水のような導電性の液体を入れないでください。

発熱・発火・破裂などの恐れがあります。

④ 作業場や保管場所の周囲状況も考慮してください。

- 工具本体や蓄電池は、雨の中や湿った場所で使用・放置・保管をしないでください。感電や発煙の恐れがあります。
- 作業場は十分に明るくしてください。
暗い場所での作業は、事故の原因になります。
- 可燃物、可燃性あるいは腐食性の液体やガスがある所での使用・充電・保管をしないでください。発火や火災の恐れがあります。

⑤ 保護メガネを使用してください。

作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
切削した物や粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。

⚠️警告

⑥ 加工する物をしっかりと固定してください。

加工する物を固定するために、クランプや万力などを使用してください。
手で保持するより安全で、両手でコードレス工具を使用できます。
固定が不十分な場合は、加工する物が飛んで、けがの原因になります。

⑦ 次の場合は、コードレス工具のスイッチを切り（OFF）、蓄電池を工具本体から取りはずしてください。

- 使用しない、または、準備・調整・保守・点検する場合。
- 付属品や別売部品を取り付け、交換する場合。
- その他、危険が予想される場合。

コードレス工具が作動して、けがの原因になります。

⑧ 不意な始動は避けてください。

スイッチに指を掛け運ばないでください。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。

⑨ 指定の付属品や別売部品を使用してください。

この取扱説明書、および弊社カタログに記載されている指定の付属品や別売部品を使用してください。事故やけがの原因になります。

⑩ 蓄電池を火の中に投入しないでください。

破裂して、有害物質が出る恐れがあります。

⚠️注意

① 作業場は、いつもきれいに保ってください。

散らかった場所や作業台は、事故の原因になります。

② 子供を近づけないでください。

- 作業者以外、コードレス工具に触れさせないでください。けがの原因になります。
- 作業者以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
- 安全の責任を負う人の監視または指示がないかぎり、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。

③ 使用しない場合は、きちんと保管してください。

- 乾燥した場所で、子供の手が届かない所または鍵のかかる所に保管してください。
事故の原因になります。
- 工具本体や蓄電池を、温度が50°C以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。
蓄電池劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。

⚠注意

④ 無理して使用しないでください。

- ・安全に能率良く作業するために、コードレス工具の能力に合った速さで作業してください。能力以上の使用は、事故の原因になります。
- ・モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
発煙、発火の恐れがあります。

⑤ 作業に合ったコードレス工具を使用してください。

- ・大形のコードレス工具で行う作業には、小形のコードレス工具・別売部品を使用しないでください。けがの原因になります。
- ・指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。

⑥ きちんとした服装で作業してください。

- ・だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。
回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- ・屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
滑りやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
- ・長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。
回転部に巻き込まれる恐れがあります。

⑦ 無理な姿勢で作業をしないでください。

常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
転倒して、けがの原因になります。

⑧ コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。

- ・安全に能率良く作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。
- ・付属品や先端工具の取付け・取りはずしは、取扱説明書に従ってください。
- ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。

⑨ 調整キーやスパナなどは、スイッチを入れる前に取りはずしてください。

調整キーやスパナなどの工具類が、取りはずしてあることを確認してください。
付けたままでは作動時に飛び出して、けがの原因になります。

⑩ 油断しないで十分注意して作業をしてください。

- ・コードレス工具を使用する場合は、取扱い方法、作業の仕方、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- ・常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- ・疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。

⑪ 十分な防じん対策や飛散防止対策をしてください。

特に、人体に有害な成分を加工するときは注意してください。

⚠注意

⑫ アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業を含む)で使用しないでください。

アスベストは、人体に肺がん等の重大な健康被害を発症させる物質です。

⑬ 損傷した部品がないか点検してください。

- ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- ・破損した保護カバー、その他の部品交換は、取扱説明書の指示に従ってください。
取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に依頼してください。
- ・スイッチで始動および停止操作のできないコードレス工具は、使用しないでください。誤作動して、けがの原因になります。

⑭ コードレス工具の修理は、専門店に依頼してください。

- ・サービスマン以外の人は、工具本体や蓄電池の分解・修理・改造をしないでください。発火や誤作動など、けがの原因になります。
- ・コードレス工具が高温になるなど、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- ・この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ・修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。
- ・アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業を含む)で使用したコードレス工具の保守・点検・修理は受付けできません。

○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になる必要があります。
状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

本製品の使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレス連結ねじドライバについて、次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

- ① 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に確認してください。
埋設物があると先端工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
- ② 使用する際は、以下のようにしてください。
 - ・軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しない
 - ・機体をしっかりと保持する
 - ・ビットやスライダなどに手や顔などを近づけない
- ③ 誤って落としたり、衝撃が加わったりしたときは、機体などに破損や亀裂、変形がないことを点検してください。
- ④ 使用中、機体が高温になったり、異常音、異常振動がしたりするときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。
- ⑤ 工具本体の端子部（蓄電池取付部）に、切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
 - ・使用前に、端子部に切りくず、ほこりがたまっていることを確認してください。
 - ・作業中に、機体に付いた切りくず、ほこりが端子部に降りかからないようにしてください。
 - ・使用中断時、および使用後に切りくず、ほこりが降りかかる場所に機体を放置しないでください。
- ⑥ 短絡（ショート）して、発煙・発火などの恐れがあります。
- ⑦ 工具本体の端子部（蓄電池取付部）に変形が生じた場合は、使用しないでください。
短絡（ショート）して、発煙・発火の恐れがあります。

⚠ 注意

- ① 付属品や別売部品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
- ② ねじ締め・ゆるめ直後のねじやビットは、高温になっているので触れないでください。
- ③ 高所作業のときは、下に人がいないことを確認してください。
材料や機体などを落としたとき、事故の原因になります。
- ④ 機体の外枠にある風穴に異物を入れないでください。
モーターがロックし、故障の原因になります。
- ⑤ 機体で材料をたたく、落下等の強い衝撃を加える、水にぬらすことなどをしないでください。
内蔵している精密部品が破損し、誤作動等をおこす原因になります。
- ⑥ スイッチパネルに強い衝撃を与えたり、破いたりしないでください。
- ⑦ 蓄電池は確実に取付けてください。
- ⑧ 用途外の作業に使用しないでください。
普通硬質石こうボードや、けい酸カルシウム板の締付け、木下地への締付けは負荷が大きいため、保護機能が作動したり連続作業ができない場合があります。また、異音発生や機体故障の原因になります。

⚠ 警告マークについて



このマークのある操作・手順では、必ずスイッチを切り（OFF）、蓄電池を工具本体から取りはずしてください。
蓄電池を工具本体に装着したまま準備や点検、先端工具の交換などをすると、予期できない作動を招いて事故やけがの原因になります。

リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品はリチウムイオン電池を使用します。リチウムイオン電池には、寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能が付いています。

下記①、②、③の場合、本製品を使用中にモーターが停止することがあります。これは保護機能によるものであり故障ではありません。

① 電池残量が少なくなるとモーターが停止します。
速やかに充電してください。

② 過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。
スイッチを切り、過負荷の原因を取り除いてください。

③ 蓄電池が過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。
蓄電池の使用を中断し、工具本体より取りはずして、風通しの良い日かけなどで蓄電池を十分に冷ましてください。

再びご使用になります。

さらに蓄電池の液漏れ、発熱・発煙・発火を未然に防ぐため、次に述べる注意事項を守ってください。

⚠警告

- ① 蓄電池の端子部に、切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
 - 使用前に、端子部に切りくず、ほこりがたまっていることを確認してください。
 - 作業中に、機体に付いた切りくず、ほこりが端子部に降りかからないようにしてください。
 - 使用中断時、および使用後に切りくず、ほこりが降りかかる場所に機体を放置しないでください。
- ② 誤って落とすなど、蓄電池の端子部に変形が生じた場合は、使用しないでください。また、外傷、変形の著しい蓄電池は使用しないでください。
- ③ 蓄電池に釘を刺す、ハンマーでたたく、踏みつける、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。
- ④ 蓄電池を指定機器以外の用途に使わないでください。
- ⑤ 蓄電池を電子レンジや高圧容器に入れるなど、過熱・高圧を与えないでください。
- ⑥ 蓄電池が液漏れしたり、異臭を発したりするときは直ちに火気より遠ざけてください。
- ⑦ 強い静電気の発生する場所では使用しないでください。
- ⑧ 蓄電池の使用、充電、保管時に異臭・発熱・変色・変形、その他異常に気が付いたときは、直ちに使用を中止して、お買い求めの販売店に相談してください。

⚠警告

- ⑨ 蓄電池にアルカリ系の潤滑剤や切削液が付着した場合は、速やかに乾いた布でふき取ってください。
ケースの破損や劣化の原因になります。

⚠注意

- ① 蓄電池が液漏れして液が目に入ったときは、こすらずにすぐ水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。
放置すると液により目に障害を与える原因になります。
- ② 蓄電池が液漏れして液が皮膚や衣類に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。
皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。
- ③ 蓄電池を一般のごみと一緒に捨てないでください。
- ④ 蓄電池は子供の手が届かない所に保管してください。
- ⑤ 蓄電池の仕様表示に従って正しく使用してください。

蓄電池はリサイクルへ

蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。蓄電池を廃棄する際は、リサイクルにご協力いただき、お買い求めの販売店にご持参ください。



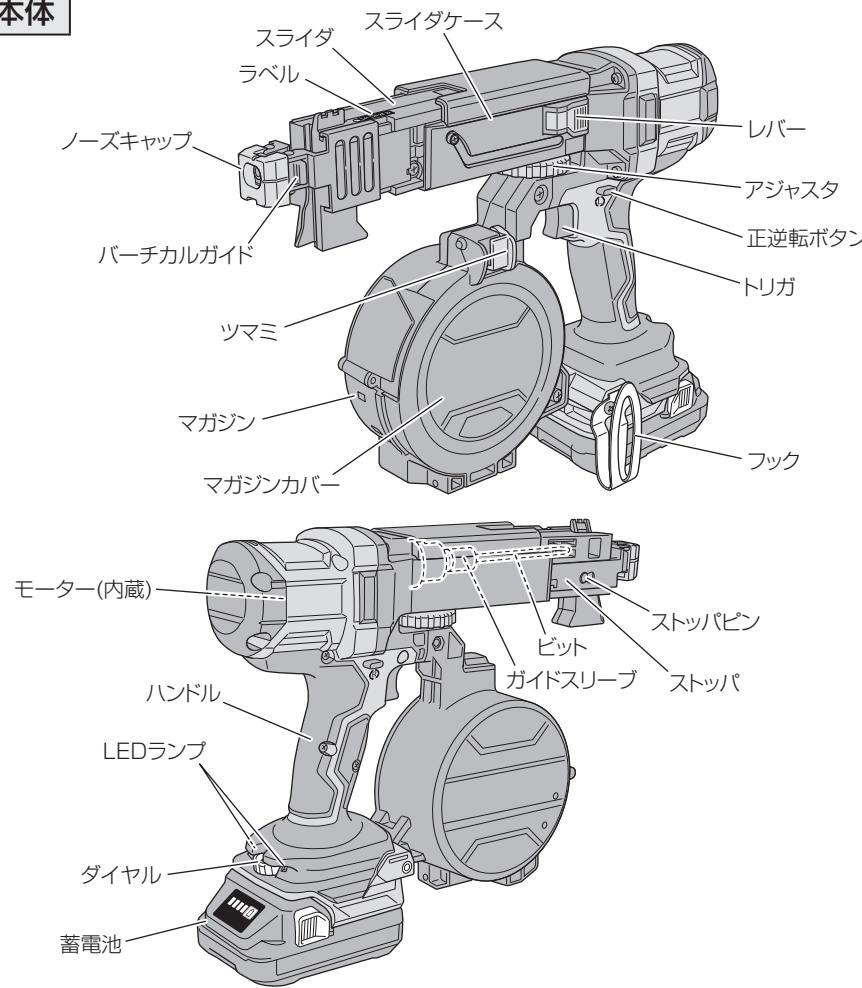
リチウムイオン電池は
リサイクルへ

○ 蓄電池は、弊社純正品をご使用ください

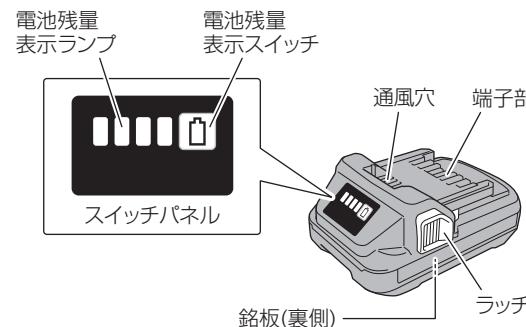
弊社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物（蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、安全性や製品に関する保証ができません。

各部の名称

工具本体



蓄電池



用 途

●建築内装の鋼製下地材(厚さ 0.5 mm 以下)、および木下地材への石膏ボード張り作業

仕 様

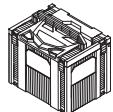
1. 工具本体

形 名	WF 1804DA
能 力 (使 用 ね じ)	ロール連結ねじ: 長さ 25~41 mm
ね じ 装 て ん 数	100 本(1巻)
無 負 荷 回 転 数 [気温 20°C 満充電時]	5,500 min ⁻¹ {回 / 分}
モ ー タ ー	直流ブラシレスモーター
寸 法 (全長 × 全高)	335 mm × 261 mm [BSL 1820M 装着時] 350 mm × 279 mm [BSL 36A18X 装着時]
使 用 ビ ッ ト	プラスドライバビット (No.2、長さ 126 mm)
質 量	2.1 kg [BSL 1820M 装着時] 2.4 kg [BSL 36A18X 装着時]
電 池 電 壓	18 V
使 用 可 能 蓄 電 池	リチウムイオン電池 •マルチボルトタイプ蓄電池 •18 V (BSL18**シリーズ)

2. 蓄電池

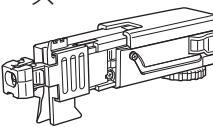
形 名	BSL 1820M
種 類	円筒密閉形リチウムイオン電池
電 池 電 壓	18 V
容 量	2.0 Ah
冷 却	対応
使 用 可 能 コ ー ド レ ス 製 品	18 V スライド式リチウムイオン電池対応製品
使 用 可 能 充 電 器	スライド式リチウムイオン電池対応充電器 UC 36***、UC 18***シリーズ
残 量 表 示 ラ ン プ	緑色 LED

標準付属品

品名	仕様	BP	NN
プラスドライバビット (No.2、長さ 126 mm)		3本 [本体装着1、予備2]	3本 [本体装着1、予備2]
フック		1個	1個
蓄電池 BSL 1820M		1個	—
電池カバー		1個	—
充電器 ●取扱い方法は、充電器の取扱説明書を確認してください。		1台	—
システムケース No.4		1個	—

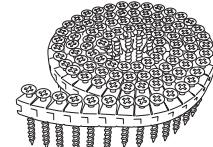
別売部品 (別売品は生産を打ち切る場合がありますので、ご了承ください。)

詳しくは、お買い求めの販売店に問い合わせてください。

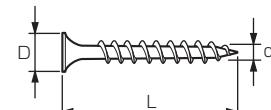
スライダケース		プラスビット [5本入] (No.2、長さ 126 mm)	
---------	---	----------------------------------	---

ロール連結ねじ

ねじの寸法・形状は、表1に示すねじを各種用意しておりますので、ねじ締め作業の用途に合わせて、表2を参考に適切なねじを選択してください。



連結ねじ 1巻：100本



ねじの寸法・形状

注 •鋼製下地の場合は、鋼製下地用ねじを使用してください。
それ以外のねじを使用すると、締付けできない場合があります。

- 異常締付け (カムアウト*・浮き) 故障 (ねじ詰まり・ビットの摩耗) の原因になるので、指定以外のねじは使用しないでください。
※ カムアウト：ねじの十字穴よりビットがはずれて空回りし、うまく締付けできない状態。
- この機体で使用できる鋼製下地の厚さは 0.5 mm 以下です。
それ以上の厚さ、また、2枚重なった箇所へ使用した場合は、締付けできないことがあります。

表1. ロール連結ねじの寸法・形状 (寸法単位: mm)

用途	長さ L	直径 D	軸径 d	表面処理	形名	備考
石こうボードと 鋼製下地の締結	25	3.5	3.5	ディスゴ (ノンクロム)	SV 3525K2	鋼製下地 (厚さ 0.5 mm 以下)
	28				SV 3528K2	
	41				SV 3541K2	
石こうボードと 木下地の締結	25	8.0	3.9	デュラルコート (ノンクロム)	SV 3925H(D)	
	28				SV 3928H(D)	2×4認定
	32				SV 3932H(D)	2×4認定
	41	8.4	4.2	ステンレス	SV 3941H(D)	2×4認定
	28				SV 3928HS	
	32				SV 3932HS	
木下地の締結	32			デュラルコート (ノンクロム)	SV 4232H(J)	JIS
	41				SV 4241H(J)	JIS

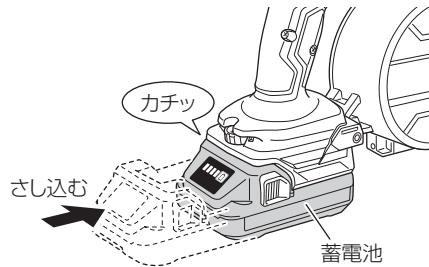
表2. 部材適合表 (石こうボード)

形名	適合下地	石こうボードの厚さ (mm)				
		t9.5	t12.5	t15	t9.5 + t9.5	t12.5 + t12.5
SV 3525K2	鋼製下地 (厚さ 0.5 mm 以下)	○	○	×	×	×
SV 3528K2		○	○	○	×	×
SV 3541K2		×	×	×	○	○
SV 3925H(D)	木下地	○	×	×	×	×
SV 3928H(D)		○	○	×	×	×
SV 3928HS						
SV 3932H(D)						
SV 3932HS		×	○	○	○	×
SV 4232H(J)						
SV 3941H(D)		×	○	○	○	○
SV 4241H(J)						

蓄電池の取付け・取りはずし

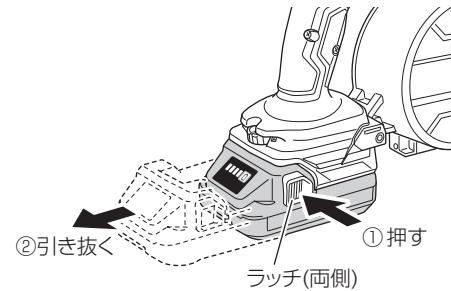
取付けるとき

「カチッ」と音がするまで、確実にさし込んでください。



取りはずすとき

両側のラッチを押しながら、スライドさせて引き抜きます。



フックの使い方

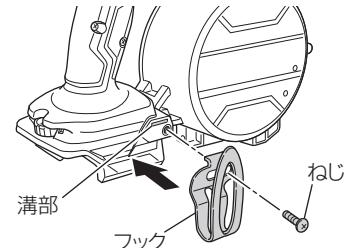
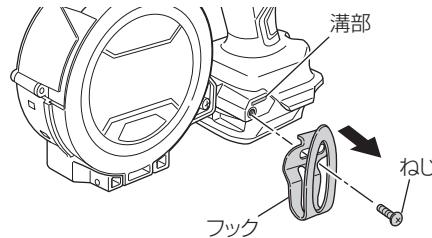
フックは、作業の合間に腰ベルトなどにつり下げる機能を持っています。

△注意

- スライダケースを取りはずした状態でフックを使用するときは、先端工具を取りはずしてください。
- フックを使用するときは、機体が落下しないように、しっかりと掛けてください。
- フックはしっかりと取付けてください。

プラスドライバーを使用し、ねじで取付けます。

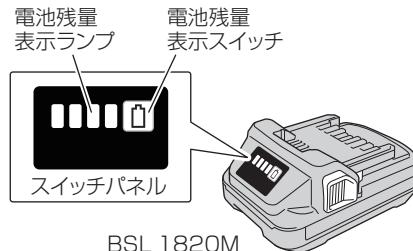
左右どちら側にも取付けて使用することができます。



電池残量表示

電池残量表示スイッチを押すとランプが点灯して、電池残量を確認することができます。

電池残量表示は、使用環境、蓄電池の状態などにより異なりますので目安としてください。



注 残量表示機能のある製品側、および充電器側の残量表示と異なる場合があります。

ランプの点灯状態	電池残量
点灯	75%以上
	50%～75%未満
	25%～50%未満
	25%未満
点滅	0%
	高温のため出力停止※
	故障のため出力停止※

※1：蓄電池を工具本体より取りはずし、十分に冷ましてください。

※2：蓄電池の故障と考えられますので、お買い求めの販売店に相談してください。

1充電当たりの作業量

作業量は、材料のかたさ、使用環境、蓄電池の状態などにより異なります。

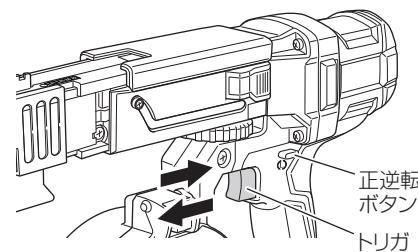
[オートモード使用時]

作業内容			蓄電池	
下地	石こうボード	ロール連結ねじ	BSL 1820M	BSL 36A18X
木下地	12.5 mm: 1枚 (ねじ長さ 28 mm, 軸径 3.9 mm)	SV 3928H(D)	約 2,000 本	約 4,600 本
	12.5 mm: 2枚 (二重張り)	SV 3941H(D) (ねじ長さ 41 mm, 軸径 3.9 mm)	約 1,300 本	約 3,300 本
鋼製下地: 0.5 mm	12.5 mm: 1枚	SV 3528K2 (ねじ長さ 28 mm, 軸径 3.5 mm)	約 1,800 本	約 4,500 本

スイッチの操作

トリガを引くとスイッチが入り、はなすと切れます。トリガを引き、指をはなししたときスイッチが戻ることを確認してください。

注 正逆転ボタンが中間の位置では、スイッチが入りません。



正逆転の切り替え

注 • 使用前に、回転方向を確認してください。

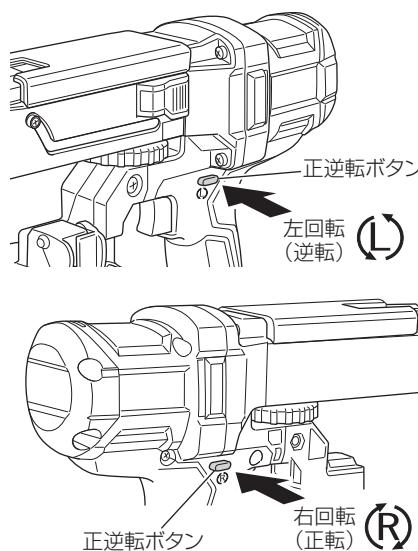
• 正転・逆転の切り替えは、モーターの回転が停止した状態で行ってください。

回転中に切り替えると、故障の原因になります。

正逆転ボタンは、(R)側を押すと右回転(正転)し、(L)側を押すと左回転(逆転)します。中間の位置では、スイッチが入りませんので、確実に押し込んでください。

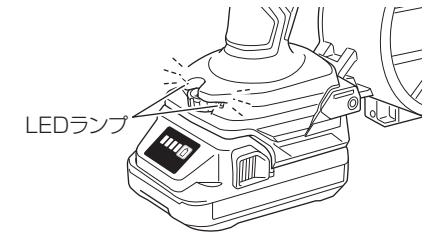
スイッチを引くとモーターが回りますが、ビットは回転しません。

ビットの先端がねじ頭部の溝に当たり、押し付けられると、ビットが回転します。



保護機能について

本製品は、工具本体を保護する機能が付いており、作業中に保護機能が作動するとLEDランプが3回点滅してお知らせします。保護機能が作動したときは、直ちに運転を停止し対処方法に従ってください。



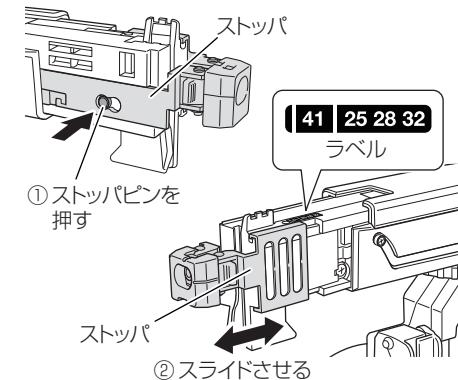
LEDランプの表示	保護機能	対処方法
3回点滅	過負荷保護	大きな負荷の原因を取り除いてください。
	温度保護	工具本体、および蓄電池を十分に冷ましてください。

注 対処後、スイッチを引いても作動しない場合やランプが点滅する場合は、蓄電池を取りはずし、10秒ほど待ってから蓄電池を挿入してください。

ストッパの位置設定

使用するねじの長さに合わせて、ストッパの位置を変えます。

1 ストッパピンを押しながら、ストッパをスライドさせます。



2 ラベルとストッパを、使用するねじ長さに合わせます。

ラベルの数字とねじの長さは、右表を参照してください。

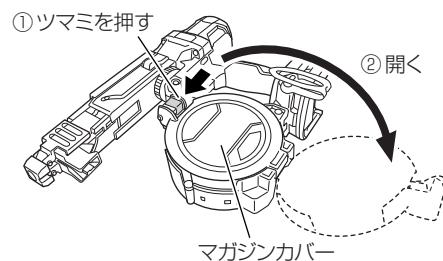
ラベルの数字	ねじの長さ
25～32	25～32 mm
41	41 mm

連結ねじの装てんと抜き取り

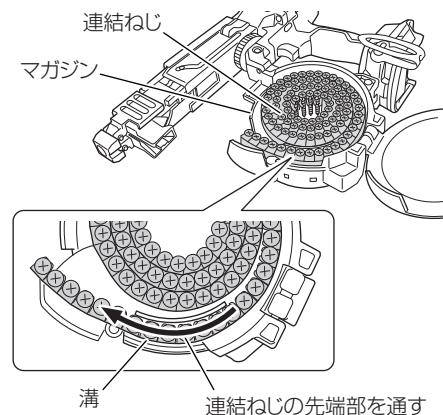
- 注**
- 連結ねじの装てん前に、使用するねじの長さに合わせてストップの位置を設定してください。(P.16「ストップの位置設定」参照)
 - 連結ねじは確実にセットしてください。
確実にセットしないと、ビットで石こうボード表面を傷つけたり(送り不足)、ねじをムダにしたり(送りすぎ)する原因になります。
 - ねじを長時間外気や直射日光にさらさないでください。使用しないときは、ねじ梱包箱などに入れてください。
さびの発生や、連結シートに不具合が生じる場合があります。

装てん

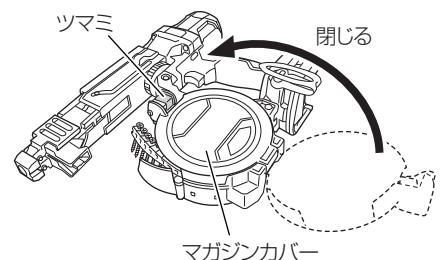
- 1** ツマミを押して固定を解除し、マガジンカバーを開きます。



- 2** マガジンに連結ねじを巻いた状態で入れ、先端部分をマガジンの溝に通します。

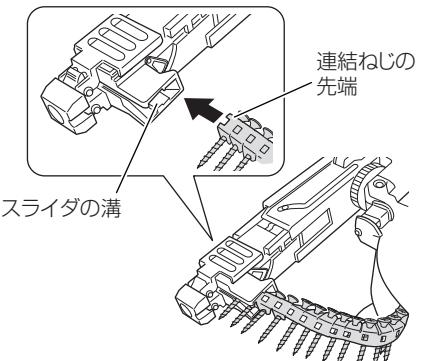


- 3** ツマミを押しながら、マガジンカバーを閉じます。

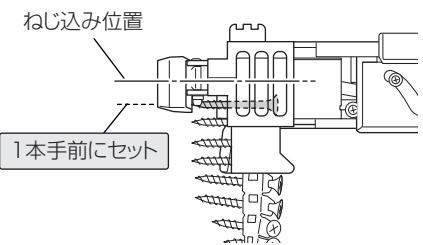


- 注**
- 次の場合、マガジンカバーが閉じないことや、ねじが送られないことがあるので、注意してください。
 - ねじや連結シートが所定の位置に入っていない
 - ねじが連結シートからはずれている
 - ねじは丁寧に扱ってください。連結シートからねじがはずれた状態で使用するとねじ送り不良により、カムアウト、空打ち、ねじ詰まりなどが発生します。

- 4** 連結ねじのシート先端をスライダの溝にさし込み、矢印の方向に送ります。

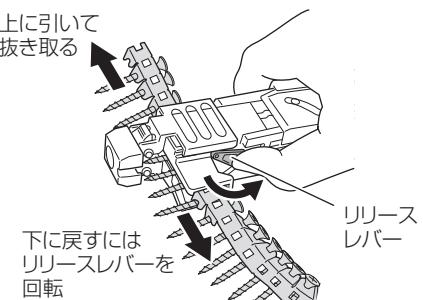


- 5** 連結ねじが、ねじ込み位置の1本手前になるようにセットしてください。



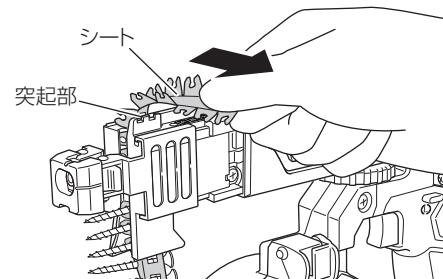
抜き取り

上の方向に引いて抜き取るか、リリースレバーを回転させ、下の方向に引いて抜き取ります。



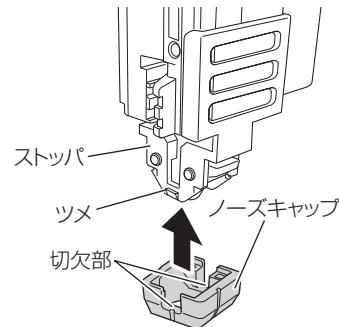
③ 連結シートの切り方

連結シートを突起部に引っ掛けて、矢印の方向に引きちぎってください。



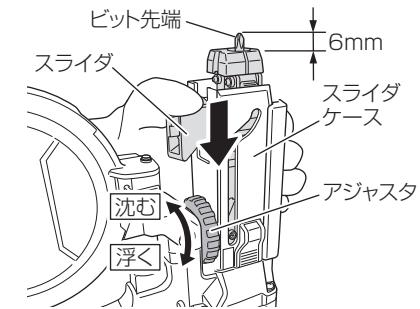
④ ノーズキャップの取付け方

ノーズキャップの切欠部に、ストッパのツメが納まるように取付けてください。

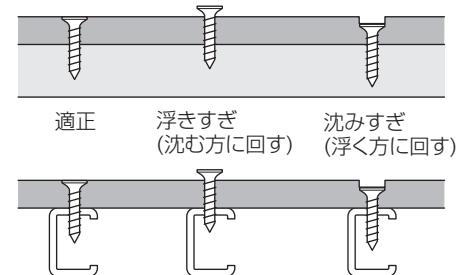


ねじの締付け深さの調整

- スライダをスライダケースの奥まで押し込んで、ビット先端が約 6 mm 出るようにアジャスタを回して調整します。



- ねじを試し打ちします。ねじの頭が浮きすぎるとときは、アジャスタを沈む方に回します。
ねじの頭が沈むときは、アジャスタを浮く方に回します。



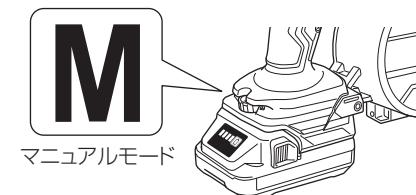
モードの切り替え

本製品には、3種類のモードがあります。ダイヤルで作業に応じたモードを設定してください。

注 モーターが作動しても、ビットが押し込まれるまでビットは回転しません。

マニュアルモード

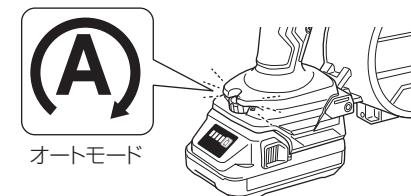
- ① ダイヤルを図の位置にします。
- ② トリガを引くと、引き込み量に応じて回転数が上がります。



オートモード

自動的にビットが回転し、トリガ操作なしでもねじ締め作業が可能です。

- ① ダイヤルを図の位置にします。
- ② オートモードを有効にするには、トリガを引きます。オートモードが有効になると、LEDランプが2回点滅します。



※ オートモード有効で、LEDランプが2回点滅します。

注 • 15分間締付け操作をしないと、オートモードは解除されます。

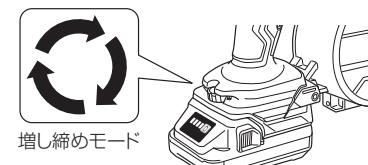
再度有効にするには、トリガを引きます。

- ほかのモードでトリガを引いた後であれば、ダイヤル設定のみでオートモードが有効^{*}になります。
- オートモードでは、回転数の調整はできません。

増し締めモード

トリガを引いている間、一定間隔で回転/停止を繰り返し、ねじを増し締めすることができます。

- ① スライダケースをはずします。
- ② ダイヤルを図の位置にします。



作業上のご注意

●連続作業について

本機はモーターおよびモーターの駆動制御を行っている電子部品を保護するため、温度保護回路が搭載されています。

連続作業を行うと、機体の温度が上昇するため温度保護回路が作動し、自動停止する場合があります。

その際は機体を十分に冷ましてください。温度が下がれば再び使用することができます。

連続的に作業する際は、蓄電池の交換時に機体を15分程度休ませてから使用してください。蓄電池の交換後すぐに作業を続けるとモーターなどの温度が高くなり、故障の原因になります。

●変速スイッチについて

回転数を無段階に変速する電子回路が内蔵されています。

トリガの引き込み量が少ない状態(低速回転域)でモーターを停止させる作業を連続的に行なうと電子回路部品の温度が高くなります。このとき、温度保護が作動し自動停止する場合がありますが、温度が下がれば、再び使用できます。

●機体の保持と押し付け力について

機体を両手でしっかりと保持してください。

また、先端工具を必要以上に押し付ける必要はありません。先端工具にこじる力や押し付ける力が過度にかかると、機体が故障する原因になります。

ねじを締める / はすす

建築内装の鋼製下地材(厚さ0.5mm以下)、
および木下地材への石こうボード張り作業

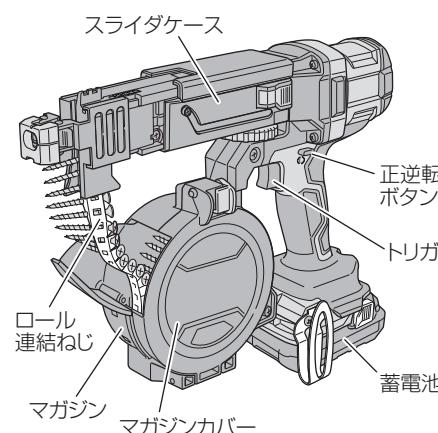
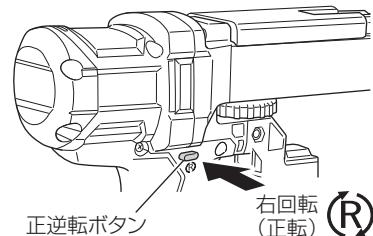
1 ねじを装てんする

用途に合った形状・寸法のロール連結ねじを装てんしてください。
(P.17「連結ねじの装てんと抜き取り」参照)

- 注**
- 締付けるときは、機体を対象物に対して垂直に押し付けてください。対象物に対し、機体が斜めになると、ねじの頭部を傷めたり、ビットの摩耗につながります。また、所定の締付力がねじに伝わらず、ねじ浮きの原因になります。
 - 締付けるときは、締付け終了まで機体をしっかりと押し付けてください。途中で押し付けをゆるめると、ねじ浮きの原因になります。
 - 締付けるときは、機体をたたくような押し付け方では行わないでください。ねじ送り動作が不安定になる原因になります。
 - ねじの上にねじを締めるとねじが倒れたり、次のねじが送られませんので注意してください。
 - 空打ちの注意：
連続してねじを締めていると、ねじがなくなったのに気が付かず、そのまま使用することがあります。
空打ちすると、ビットで石こうボードを傷つけてしましますので、ねじの残り本数を見ながら締付けてください。

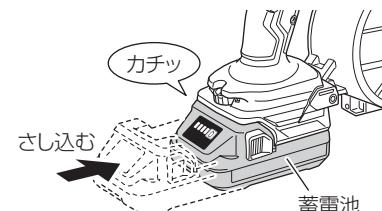
2 回転方向を正転(R)にする

- 正逆転ボタンを押して回転方向を正転(R)にします。
- 中間の位置では、スイッチが入りませんので、確実に押し込んでください。(P.15「正逆転の切り替え」参照)



3 蓄電池を取り付ける

「カチッ」と音がするまで、確実にさし込んでください。



スライダケースを取りはずして…

(P.25「スライダケースの取りはずし」参照)

【隅打ち】

スライダケースを取りはずして、壁ぎわや柱の脇などの狭い箇所へ、ねじ締めを行うことができます。

また、締込み不足のねじを増し締めすることもできます。

【ねじの取りはずし】

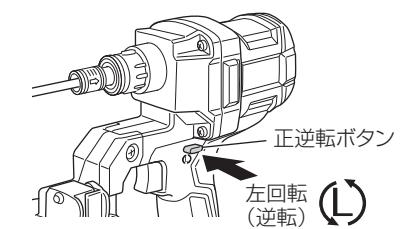
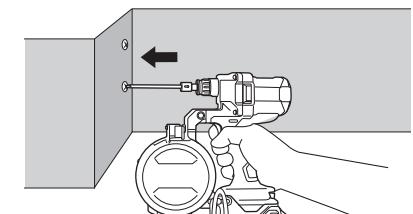
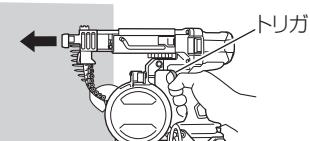
回転方向を逆転(L)にして、締付けたねじをゆるめ、取りはずすことができます。

ねじ頭部の溝に正しくビットをはめて、垂直に押し付けながらトリガを引きます。または、トリガを引いたまま、垂直に押し付けます。

4 スイッチを入れる

トリガを引いたまま機体を対象物に対して垂直に押し付けると、ねじが自動的に送られ、ねじを締付けます。

トリガを引いたまま押し付ける



● ビットの交換方法

⚠ 注意

- ・ビットの交換時、機体内部に砂、ごみ、ほこりなどが入らないようにしてください。
- ・ビットは消耗品です。早めに新品と交換してください。
摩耗したビットをそのまま使うと、ねじ締め不良や破損して、交換ができなくなる場合があります。

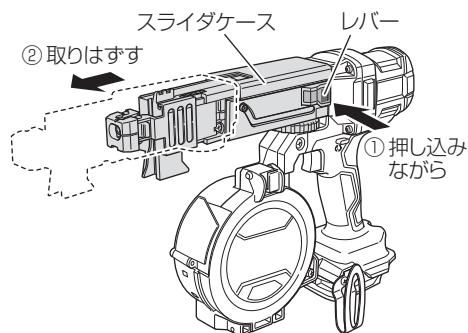
作業前にビットが損傷していないか点検し、ビットの損傷などにより交換する必要がある場合は、以下の手順で新品のビットと交換してください。

スライダケースの取りはずし

- 1 レバーを押し込みながら、スライダケースを矢印②の方向に引き、取りはずします。

注 スライダケース取付部に石こう粉が付着しないように、こまめに清掃してください。

石こう粉が付着すると、取りはずしにくくなります。



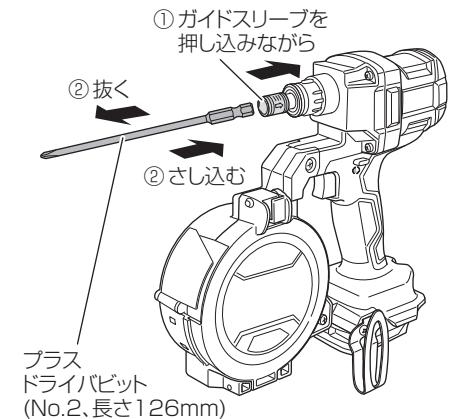
ビットの取付け・取りはずし

ビットは、次の手順で確実に取付けてください。

- 2 ガイドスリーブを押し込みながら、古いビットを抜いてください。

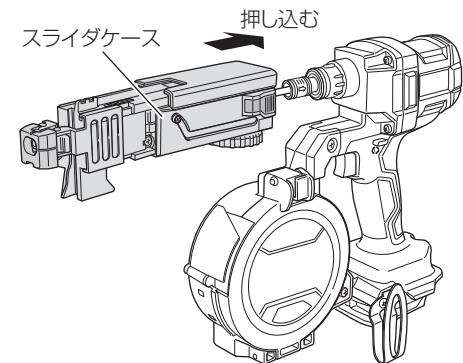
- 3 ガイドスリーブを押し込みながら、新しいビットをさしこみ、ガイドスリーブをはなします。

- 4 ビットを取り付け、ガイドスリーブが元の位置に戻らないときは、取付けが不確実です。ビットがソケットの六角穴の奥に突き当たるまで入れてください。



スライダケースの取付け

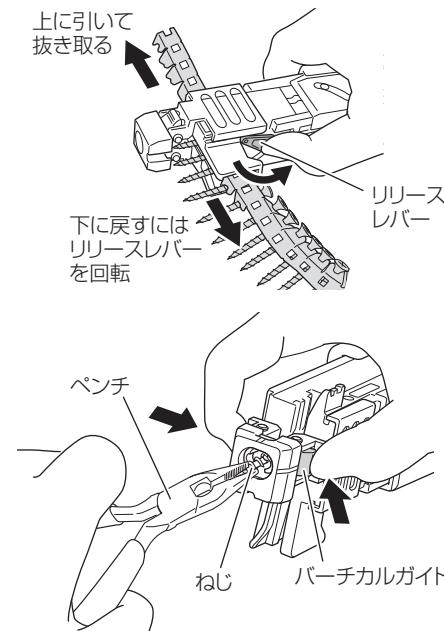
- 4 スライダケースは、確実にロックされるまで押し込んでください。



保守・点検

●ねじ詰まりの直し方

- 1 スライダ内よりねじを抜き取ります。



- 2 ①で抜けない場合、内部に詰まったねじをバーチカルガイドを開きながら、お手持ちのペンチなどで取り除きます。

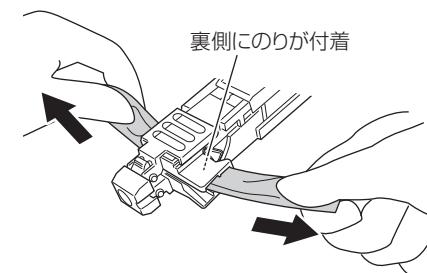
- 3 連結シートの変形した部分をお手持ちのニッパなどで切断し、再びねじをセットします。

●スライダの点検

- 注** スライダ内を時々掃除してください。

中にたまつた連結ねじシートののりや、石こうボード粉などを、市販のアルコールティッシュ等でふき取ってください。

連結ねじが装てんしづらくなったり、無理に押し込むとねじ送り不良となり、カムアウト、空打ち、ねじ詰まりなどが発生する恐れがあります。



●ビットの点検

先端部が摩耗したり折損したビットを使用すると、モーターに無理をかけ、能率が落ちたりねじ頭を傷めますので新品と交換してください。

●マガジンの点検

マガジンを時々掃除してください。
中にたまつた石こうボード粉やごみなどを取り除いてください。

●機体の点検

各部品の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。
ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります。
異常がある場合は、お買い求めの販売店に相談してください。

●端子部の点検

工具本体や蓄電池の端子部に切りくず、ほこりがたまつていないか点検してください。
作業前、作業後のほかに作業中でも時々点検してください。

●清掃する

機体が汚れたときは、石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。
ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

●モーターの取扱いについて

モーター（内蔵）(P.9「各部の名称」参照)に、油や水が浸入しないよう十分に注意してください。

- 注** ごみやほこりを排出するため、定期的に、モーターを無負荷運転させて、湿気のない空気をハウジング後方の風穴から吹き込んでください。
モーター内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。

●機体や付属品の保管

下記のような場所は避け、温度が50°C未満で乾燥した安全な場所に保管してください。

- ・お子様の手が届く場所、持ち出せる場所
- ・軒先など雨が降りかかる場所、湿気がある場所
- ・温度が急変する場所、直射日光が当たる場所
- ・引火や爆発の恐れがある揮発性物質が置いてある場所

●リチウムイオン電池の輸送について

リチウムイオン電池を輸送する場合、次の点に注意してください。

⚠警告

輸送会社にリチウムイオン電池を含む荷物であること、および電力量を伝えて、輸送会社の指示に基づいた手続きを行ってください。

- 電力量が100 Whを超えるリチウムイオン電池の場合は、輸送貨物の分類上、危険物扱いとなり、特別な申請等が必要になります。
- 海外へ輸送する場合、国際法令および輸送先国の規制に従う必要があります。

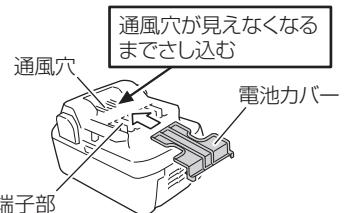


●リチウムイオン電池の保管について

⚠警告

リチウムイオン電池の端子部に導電性のある異物が入り込むと、短絡(ショート)して発熱・発煙・発火する恐れがありますので、保管するときは、以下の内容を守ってください。

- 収納ケースに導電性のある切りくずや釘、針金や銅線などの線材を入れないでください。
- 短絡(ショート)するのを防ぐため、蓄電池は工具本体にさし込むか、電池カバーを取付けて保管してください。



注 リチウムイオン電池を保管するときは、半分程度の容量で保管してください。

蓄電池の残量が少ない状態で長期間(3か月以上)保管すると蓄電池が劣化し、使用時間が著しく短くなる、または充電できなくなる恐れがあります。

充電と使用を繰り返しても使用時間が極端に短い場合は、蓄電池の寿命とご判断いただき、新しい蓄電池をお買い求めください。